



文部科学省

# 地(知)の拠点

COC事業を始めとする  
様々な地域活動をお伝えする  
広報誌！！

- ◆2013年度文部科学省「大学COC事業」に採択
- ◆テーマ \*「新しい都市型高齢社会における地域と大学の統合知の拠点」  
・・・3分野 「生きがい創出」「健康寿命延伸」「災害に備えるまちづくり」
- ◆連携3市三鷹市・八王子市・羽村市 ↔ 「杏林CCRC」

包括的な地域連携！

# 地域交流活動かわら版

vol.5 2015/4/23  
地域交流課

最新  
トピックス

## 各学部にて「地域と大学」 関連授業始まる

## 総合政策学部「プロジェクト演習」 災害に備えたまちづくりを学ぶ (平成27年度生きがいづくりコーディネーター開講科目)

平成27年度の「地域と大学」関連の授業が各学部で始まりました。授業ではそれぞれの学部の特徴に関する地域との関わりを学び、より実践的な学習を行います。今年度もCOC事業での連携3市の担当者の方々にご講義頂く予定です。4月17日には早速、保健学部の授業に各市の方がいらっしゃいました。



八王子市



三鷹市



羽村市



総合政策学部 進邦教授、マルコム・ヘンリフィールド教授、三浦講師が担当する「プロジェクト演習」(地域志向科目)の授業では「災害時の合意形式」をテーマのひとつとして取り上げます。

課題解決にあたってはそれぞれが役割を分担し、合意形式で相互に連携することが重要となるため、様々なアクティビティやワークショップを行いながら、組織を運営していくリーダーの役割やコミュニケーションの取り方を学びます。

# NEWS

- ・保健学部 太田教授 三鷹キャンパスにて「ツインズマーケット」開催
- ・羽村市で「地域活性化」に向けての勉強会を行いました
- ・平成26年度後期、平成27年度生きがづくりコーディネーター

保健学部 看護学科 太田教授 平成26年度活動  
三鷹キャンパスにて「ツインズマーケット」を開催

3月7日、ふたご・みつごの親の会「ツインズマーケット」が行われました。この会の目的は、多胎妊娠中の妊婦や家族が医療・看護の専門職や多胎育児経験者と交流を持ち、多胎児特有の不安や問題の解決と多胎児の親同士の交流の場を提供することです。今年、第10回目を迎え、保護者57名、0歳から12歳までの子どもたち59名の計116名が参加し盛況に終わりました。今後も一年に一度定期的に開催していく予定です。



平成26年度後期生きがづくりコーディネーター修了  
平成27年度は通年で開講

平成27年3月13日、生きがづくりコーディネーター養成講座修了式が三鷹キャンパスにて行われました。平成26年度後期より「健康寿命延伸」をテーマに開講した同講座には三鷹市在住の3名が履修し、修了認定されました。

同講座は4月から「生きがい創出」「災害に備えるまちづくり」をテーマに通年を通した講座開講となりました。科目は一例として、次の通りです。「刑事法概論Ⅰ」（総合・橋本教授）、「プロジェクト演習」（総合・進邦教授、マルコム・ヘンリフィールド教授、三浦講師）、「カウンセリング」（保健・松井准教授）、「社会福祉学Ⅰ」（総合・岡村准教授）、「救命救助法」（保健・和田教授）、「医事法各論」（総合・橋本教授）、「放射線概論」（保健・小林特任教授、森助教）【「災害に備えるまちづくり」より7科目】

## 羽村市で「地域活性化」に向けての勉強会を行いました

3月16日（月）、17日（火）の2日間、魅力ある羽村東口商店会を目指すべく、総合政策学部進邦教授、外国語学部井手准教授を中心に、講師を招き更なる活性化に向けた勉強会を行いました。勉強会では長野県諏訪市 産業連携推進室 主査の河西 俊明 氏からSUWAプレミアムにおいて実施されている成功例が紹介されました。その後開催された「杏林・羽村コモンズ」では羽村市職員、本学教職員、学生その他、商店会や商工会の方合計20名と河西氏とで羽村市と諏訪市の比較事例を取り入れながら活発な意見交換がなされました。



学長より履修証明書が手渡されました

### ◆かわら版についてのお問い合わせ

杏林大学 地域交流課 馬場、依田

Tel 042-691-8725 (内1103) Fax 042-691-3809

Mail area@ks.kyorin-u.ac.jp